

2019 年度 法科大学院授業料免除申請書

年 月 日

名古屋大学総長 殿

年度入学

法学研究科 実務法曹養成専攻 既修・未修 年

学籍番号 氏名

授業料免除の申請に当たり、私(本年度について、本人のみ)の経済生活状況等を下記のとおり申告します。

記

※次頁以降の経済生活状況申告書を作成後、本頁の各区分の収入金額を記入してください。

(すべての項目について記入してください。「ゼロ」なら「0」と記入してください。)

区 分		収入金額 (年 額・税込, 万円)	
		2018年1月～12月(万円)	2019年1月～12月(見込)(万円)
本 人 の 収 入	定 職 収 入	万円	万円
	奨学金	万円	万円
	アルバイト収入	万円	万円
		万円	万円
	父母等からの給付金	万円	万円
	配偶者からの給付金	万円	万円
	預貯金からの引出額	万円	万円
	その他の収入	万円	万円
収入金額合計		万円	万円

法科大学院生用 経済生活状況申告書

学籍番号

氏名

【記入上の注意】

- ※ 1 「1. 収入(平均的収入月額)」≧「2. 支出(平均的支出月額)」となるように記入してください。
- ※ 2 「1. 収入(平均的収入月額)」の「月額金額」の上段 () 内には、昨年度の状況を記入してください。
- ※ 3 すべての項目について記入してください。「ゼロ」なら「0」と記入してください。

1. 収入〔平均的収入月額〕

月 額 金 額	項 目		
() 円 円	定職収入	勤務の条件が常勤で定給を得ている場合(前年1年間のもの) ただし、前年1年間の収入金額に対して、本年1年間の収入金額が転・退職等でかなりの変動が見込まれる場合は、4月1日(後期は10月1日)時点での状態で本年1年間の収入見込額を記入のこと。	
() 円 円	奨 学 金	奨学金の名称 () 支給期間： 年 月 ~ 年 月 奨学金の名称 () 支給期間： 年 月 ~ 年 月	
() 円 円	アルバイト収入	職 種	() 語学講師, 通訳, 翻訳, 設計, 製図等 () 事務的な仕事 () 店員等 () 工場, 建設現場, 清掃等の作業等 () ティーチング・アシスタント () その他 ()
() 円 円	父母等からの 給付金	本人との 間 柄	() 父母 () 兄弟姉妹 () その他 ()
() 円 円	配偶者からの給付金		
() 円 円	預貯金からの引出額		
() 円 円	その他の収入	具体的な内容：	
() 円 円	合 計 金 額		

【すべての項目について記入すること。「ゼロ」なら「0」と記入すること。】

2. 支出〔平均的支出月額〕(本人のみ)(入学金・授業料(年額を12で割る)を含む。)

月額金額		項目	
円	食費	1ヶ月の食費を記入。家族等と一緒にの食事は、家族等数で割った金額をプラスする。外食があれば、その金額もプラスする。	
円	住居費 (部屋代)	<input type="checkbox"/> 下宿(アパート等) <input type="checkbox"/> 賃貸住宅 <input type="checkbox"/> 企業の社員寮 <input type="checkbox"/> 持家(実家等) <input type="checkbox"/> その他(具体的に)	・下宿(アパート等), 賃貸住宅, 企業の社員寮は家賃等を同居家族等数で割った金額を記入する。 ・持家(実家等)の場合は[固定資産税・住宅ローン返済額]の月額を算出し, 同居家族数等で割った金額を記入する。
円	光熱水費	家族等と同居の場合は, 同居家族等数で割った金額を記入する。	
円	書籍費(教科書, 参考書等)		
該当欄に記入	○未修1年, 既修1年	大学納入金(入学金・授業料) + 通学費	
	※90,500 円	※(282,000(入学金)+804,000(授業料))/12=90,500	
	+	円	
	合計	円	
に	○未修2・3年, 既修2年	大学納入金(授業料) + 通学費	
	※67,000円	※804,000(授業料)/12=67,000	
	+	円	
	合計	円	
円	預貯金額		
円	その他, 通信費, 衣服, 理容, 日用品, 小遣い, 交際費, 年金等の上記以外の日常生活で支出した金額 (具体的な内容)		
円	合計金額		

3. 世帯の構成(同居者を記入。本人は記入しない。) 世帯人員(本人を除く) 人

続柄	氏名	年齢	職業・勤務先・学校名
父		歳	
母		歳	
配偶者			<input type="checkbox"/> 勤務先 () <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> 学生 _____ 大学 _____ 学部 _____ 年 研究科 _____ 年 研究生・大学院研究生
		歳	
		歳	
		歳	

4. 家計状況について(実状を具体的に記載すること。)
